



NPO法人 門真市手をつなぐ育成会

にじいろだより

571-0048 門真市新橋町 26-18

Tel 090-9278-9238

Email : kadoma_tewotunaguikuseikai@ybb.ne.jp

🌸 ボッチャを体験しました!!

8月、市民プラザ青少年活動センター多目的室「おもちゃライブラリーはぐくみ」にて、ファイナンプラザ大阪「スポーツ振興地域展開事業」障がい者スポーツ出前事業を活用し、ボッチャをご指導いただき、パラリンピック競技に触れることができました。

床面に白いテープでコートを2面作り、指導者が、ボッチャのルールを説明し、まずはやってみることからと、投げる練習です。その後、3人ずつ6チームに分かれてリーグ戦で総当たりの対戦をしました。

参加した小学生から高等部までの子ども達が、ルールを覚えてもらいながら白いジャックボールを目がけて球を投げ入れます。重さのある球なので力加減がわからず、初めはなかなか近づけることができせん。だんだん上手にピタリと球を寄せたり、相手の球をはじめとばしたり、上達ぶりに感心させられました。得点の数え方もわかりやすく説明していただいて、簡単に誰でもできるボッチャの魅力に参加者みなさんが完全にはまった様子でした。作戦を練るチームもあり、楽しみながら新スポーツを体験できました。

ボッチャは、ヨーロッパ生まれのパラリンピック正式種目で老若男女、障がいのあるなしに関わらず、すべての人が一緒に競い合うことの出来るスポーツです。パラリンピックのボッチャをテレビ観戦すると、対戦する人は一見冷静沈着に見えましたが、見た目より奥深くて熱くなるスポーツだと思いました。



(^)/ 参加者から (^)/

8月18日に市民プラザでボッチャ体験をしました。

ぼくは初めてテレビでボッチャをやっているのを見たときに、簡単そうだな~と思ったので、本当にパラリンピックのスポーツなのかな?と思いました。

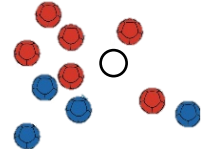
3人でチームになって、ボッチャをしました。的の白い玉よりずっと遠くに行ったり、全然届かなかったりして、最初は負け続きでした。

玉の近くにボールを投げたりころがしたりするのは思ったよりとても難しかったです。

何回もやって、最後は白い玉の上に自分の玉が乗って、一位になりました。

とてもうれしかったです! 次はボッチャ以外のスポーツも体験してみたいです。

【ボッチャ】



〈中 隼人〉

~ 次回の「ボッチャ体験行事」について ~

10月2日(土)に予定していましたボッチャ体験は、会場の都合で延期いたします。次回は12月4日(土)10時~11時40分 門真小学校体育館です。ご予約下さい。

《今後の予定》

9月

- 17日(金) ペアレント活動
(保健福祉センター ふれあいコーナー)
- 18日(土) マインドエアロビクス教室
(中止)
- 21日(火) 大阪手をつなぐ育成会
支部連絡会 わかりたすくセミナー
(中止)
- 22日(水) おもちゃライブラリー「Hug くみ」
(市民プラザ 多目的室)
- 26日(日) 第60回近畿知的障がい者福祉大会
第62回大阪知的障がい者福祉大会
- 30日(木) おや♡おやサロン
(保健福祉センター ふれあいコーナー)

10月

- 13・27日(水) おもちゃライブラリー「Hug くみ」
(市民プラザ 多目的室)
- 15日(金) ペアレント活動
(保健福祉センター ふれあいコーナー)
- 16日(土) マインドエアロビクス教室
(門真小学校 体育館)
- 19日(火) 大阪手をつなぐ育成会
支部連絡会 わかりたすくセミナー
(府立福祉情報コミュニティーセンター)
- 28日(木) おや♡おやサロン
(保健福祉センター ふれあいコーナー)

❀「ぶどう狩り」は中止です

7月の“にじいろだより”でご案内していた8月28日の親子社会体験行事(バスツアー)は、“緊急事態宣言”発令期間の延長のため、一時は9月11日に延期としましたが、再度“緊急事態宣言”が延長となり、残念ながら中止することとしました。

コロナ禍で楽しみの行事が無くなるのは、寂しいので、行き先を変更し緊急事態宣言解除のタイミングで再度計画します。参加申込みをされていた方には、変更続きですが、ご了承ください。



❀ お・知・ら・せ

近畿手をつなぐ育成会連絡協議会60周年記念 第60回近畿知的障がい者福祉大会 (第62回大阪知的障がい者福祉大会 併催)

- ★ 日 時 : 令和3年9月26日(日)
午後0時45分から午後4時
- ★ 場 所 : 東大阪市文化創造館
東大阪市御厨南2丁目3番4号
- ★ 大会主題
コロナ禍だからこそ、今、響く、支え合う
—新しい大会の姿とつながりを模索して—



♪ あ・と・が・き ♪

コロナ禍のオリンピック・パラリンピックは、多くの人たちに、いくつもの感動を残して閉幕しました

パラリンピックは、「共生社会」を目指し、障がいがあることの意味・意義を問い、障がいの違いがあっても、それぞれのやり方を工夫して、障がい程度に区分され競技種目の数はオリンピック以上で行われています。

大会に参加された皆さんに拍手です。

ところで、コロナウイルスは、ワクチンに負けまいと変異し強くなっています。小学校や保育園などでのクラスターが報道され、家族感染の不安が高まっています。子どもが罹患しても親が罹患しても離れて療養できないので大変です。

先の見えないコロナ禍で、ストレスはますます溜まることを危惧します。困った時は、SOS を発信し、みんなで情報交換しながら、自助、共助、公助で工夫し支え合っていきましょう!



NPO法人 門真市手をつなぐ育成会

571-0048 門真市新橋町 26-18

TEL 090-9278-9238

